

## 植物多様性センターの「マンリョウ」

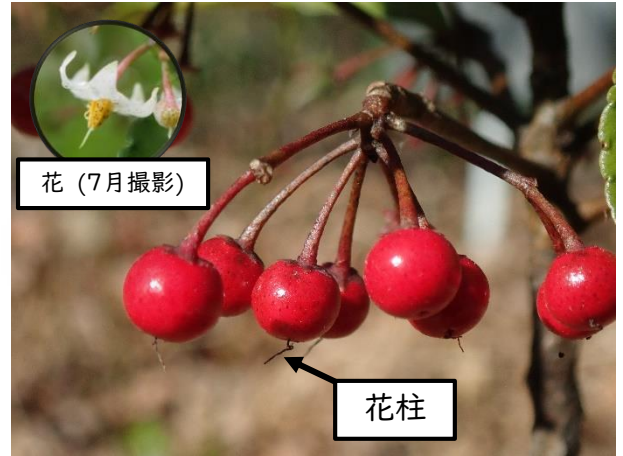
学習園にあるマンリョウに赤い実がたわわに実っています。マンリョウはサクラソウ科の常緑低木です。名前はセンリョウ科のセンリョウ(千両)より実が多く付くことから付けられたそうで、昔から縁起の良い植物として庭木などにされてきました。マンリョウの葉には葉粒菌(ようりゅうきん)という菌が住んでいます。マンリョウが葉粒菌に糖(グルコース)を与え、葉粒菌が空気中から取り込んだ窒素を貰うという共生関係にあり、肥料分の少ない土でも元気に育つ事ができます。



葉と実は枝の先端にまとまって付く。



葉:波状の鋸歯があり、互生する。



実:先端には雌しべの花柱が残る。



鋸歯の間がこぶ状に膨らみ、ここに葉粒菌が住んでいる。